

2025年度

E A

日 本 史

注 意

1. 問題は全部で 17 ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。文字は楷書で丁寧に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が 1 のとき)

1	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	a	b	c	d	-	*
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

- I 次の文章A～Cを読んで、後の問に答えなさい。1 ～ 11 は解答用紙(その1)、ア ～ カ は解答用紙(その2)を用いること。

A 6世紀末ごろになると、奈良盆地の①の飛鳥の地に大王の王宮が次々に営まれた。また、大王の王宮の近辺に諸施設が整えられ、宮都が営まれるようになる。

本格的な宮都といわれるのは飛鳥から遷都したア京である。平城京に遷都するまで続く。

この時期(7世紀後半から8世紀初頭)の文化を白鳳文化^②というが、天武・持統天皇の時代を中心とする律令国家^③が形成され、仏教文化を基調とした生氣ある若々しい文化といわれる。

奈良時代^④になると、中央集権的な国家体制が整えられた。富が中央に集められ、高度な貴族文化が花開くことになる。イ天皇の時代の年号をとり天平文化といわれる。

- 問 1 空欄ア ～ イに入る語句を漢字で答えなさい。(解答用紙その2)

- 問 2 空欄④に入る適切な用語を、次の中から一つ選びマークしなさい。1

① 東 部 ② 西 部 ③ 南 部 ④ 北 部

- 問 3 下線部⑤について述べた次の文の中から正しいものを一つ選び、マークしなさい。2

- ① 現存する法隆寺金堂壁画はインド・西域の影響を受けた。
- ② 高松塚古墳壁画にインドの影響がみられる。
- ③ 薬師寺本尊の金堂薬師三尊像のうち薬師如来は片足に膝を置き、片手を頬に当て思惟する姿で、慈愛に満ちた表情を持つ。
- ④ 7世紀には新羅を経由し伝えられた唐初期の文化の影響を受けた。

問 4 下線部㉔に関連して、律令制度について述べた次の文 X・Y について、その正誤の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

3

X 民衆は戸に所属し、口分田が班給された。口分田は売買できず、班給された人が死ぬと、その年に収公された。

Y 大宝律令は、刑部親王や藤原不比等らによってまとめられた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問 5 下線部㉕に関連して、奈良時代の出来事について述べた次の文 I～Ⅲを年代順に正しく述べたものを、次の選択肢から一つ選びなさい。 4

I 大仏造立の詔が発せられる。

II 疫病が流行し藤原武智麻呂が死去する。

III 長屋王の変が起きる。

- ① I－II－III ② I－III－II
③ II－I－III ④ II－III－I
⑤ III－I－II ⑥ III－II－I

B 鎌倉時代になると、仏教がそれまでの祈祷や学問中心のものから、内面的な深まりをもちつつ、庶民など広い階層を対象とする新しいものへと変化が始まる。鎌倉仏教といわれる。

㉖

ウ は浄土教の流れから善人・悪人や信心の有無を問うことなく、全ての人が救われるという念仏の教えを説き、念仏札を配布し各地を布教した。

鎌倉時代は多くの文学作品が著されている。武士の家に生まれた エ は平安時代末期の変動する諸国を遍歴しつつ詠んだ和歌集『山家集』を残している。また、三代將軍源実朝も万葉調の歌である『 オ 和歌集』を残した。

㉗

また、この時期、軍記物語が多く著されているが、その中でも平氏の興亡を主題とした『平家物語』は カ 法師によって平曲で語られたことで、多くの人々に親しまれた。

問 6 空欄 ウ ～ カ に入る語句を漢字二文字で答えなさい。(ウとエは漢字二文字の人物)(解答用紙その 2)

問 7 下線部㉘に関連して、鎌倉時代の農業について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 5

- ① 田畑・面積を調査し、石高が定められた。
② 多収穫米である大唐米が輸入された。
③ 麦を裏作とする二毛作が東北地方にまで広がった。
④ 衣料の原料である木綿(綿花)栽培が全国的に普及した。

問 8 下線部⑥に関して述べた次の文 X・Y と、それに関連する語句 a～d との組合せとして正しいものを下の①～④のうちから一つ選びなさい。 6

X 念仏をとねえれば、死後は極楽浄土に往生できると説いた。

Y 坐禅の中で師から与えられる問題を一つ一つ解決して、悟りに達することを主眼とした。

a 南無阿弥陀仏 b 南無妙法蓮華経

c 只管打坐 d 公案問答

① X－a Y－c ② X－a Y－d

③ X－b Y－c ④ X－b Y－d

問 9 下線部⑧に関連して、鎌倉時代の将軍について述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 7

① 将軍源実朝は弟公暁に殺害された。

② 源頼家の祖父に当たる源義朝は、平清盛とともに保元の乱に勝利した。

③ 将軍頼朝は、御家人に対し先祖伝来の所領の支配を保障した。これを新恩給与という。

④ 皇族将軍である後嵯峨上皇の皇子宗尊親王を廃すると、摂家将軍である藤原頼経を将軍に迎えた。

C 江戸時代中期の文学・芸能は、出版物や貸本屋の普及もあって、広く民衆の④ものとなった。小説では浮世草子が衰えると、挿絵で読者を引きつける草双紙や、江戸の遊里を描く洒落本が流行した。

寛政の改革で幕府は朱子学を正学とした。18世紀後半には古学派や諸学折衷の立場をとる折衷学派、さらにその中から生まれた実証的な考証学派が盛んとなった。

また歌舞伎や相撲など庶民の娯楽が盛んとなった。
8

問10 下線部⑨について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 8

① 山東京伝が仕懸文庫を出版した。

② 竹田出雲(2世)は並木千柳らと共に仮名手本忠臣蔵(脚本)を著した。

③ 浄瑠璃は、唄浄瑠璃(座敷浄瑠璃)から人形浄瑠璃へと移っていった。

④ 鳶屋重三郎は本屋である耕書堂を経営した。

問11 下線部①の時期の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 9

① 林子平が『西域物語』を著し、海外防備を説いたため、幕政への批判とみられ弾圧された。

② 松平定信は将軍家治と対立し、在職6年余りで老中を退陣に追い込まれた。

③ キリスト教関係以外の漢訳洋書については、輸入制限を緩和した。

④ ロシア使節ラクスマンが根室に来航し漂流民を届けた。

問12 下線部⑩について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ
選びなさい。 10

- ① 京都相国寺の禅僧だった藤原惺窩は朱子学の啓蒙につとめた。
- ② 林道春は将軍吉宗に用いられ、以来、林家は代々儒者として幕府に仕えた。
- ③ 知行合一を説き、実践を重視した。
- ④ 直接原典に当たり、孔子・孟子の真意を汲み取ろうとした。

問13 下線部⑪に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせと
して正しいものを、次の選択肢から一つ選びなさい。 11

X 歌舞伎をまねた地芝居が各地で取り組まれ、村人の大切な娯楽となつた。

Y 寺社や橋の修復を目的に観覧料をとって興行が行われた相撲を勧進相撲という。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

Ⅱ 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。問1は解答用紙(その2)へ、問2以下 12 ～ 20 は解答用紙(その1)へ記入すること。

省略(注)

省略(注)

省略(注)

(参考：土田宏成『災害の日本近代史』中公新書)

問 1 空欄 に入る人名を漢字で書きなさい。

問 2 下線部㉑に関連して、について述べた文として誤っているものを次の①～④の中からひとつ選び、マークしなさい。

- ①
- ②
- ③
- ④

問 3 下線部㉒に関連して、について述べた文として正しいものを次の①～④の中からひとつ選び、マークしなさい。

- ①
- ②
- ③
- ④

問 4 下線部㉓に関連して、について述べた文として正しいものを次の①～④の中からひとつ選び、マークしなさい。 **14**

- ①
- ②
- ③
- ④

問 5 下線部㉔に関連して、

を示すのは、表中ア～エのどれか。正しい組み合わせを以下の①～⑨の中からひとつ選び、マークしなさい。 **15**

省略(注)

出典：『わが国民の海外発展：移住百年の歩み 資料編』137 頁

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① I－ア、II－イ | ② I－ア、II－ウ | ③ I－ア、II－エ |
| ④ I－イ、II－ア | ⑤ I－イ、II－ウ | ⑥ I－イ、II－エ |
| ⑦ I－ウ、II－ア | ⑧ I－ウ、II－イ | ⑨ I－ウ、II－エ |

問 6 下線部㉕に関連して、次の文のうち正しいものを①～⑤の中からひとつ選び、マークしなさい。 **16**

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

問 7 下線部㉖に関連して、

を、発生順に正しく並べた選択肢はどれか。以下の①～⑥の中からひとつ選び、マークしなさい。 **17**

- | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|
| ア <input type="text"/> | イ <input type="text"/> | ウ <input type="text"/> |
| ① ア→イ→ウ | ② ア→ウ→イ | ③ イ→ア→ウ |
| ④ イ→ウ→ア | ⑤ ウ→ア→イ | ⑥ ウ→イ→ア |

問 8 下線部㉔に関連して、の説明として誤っている文を、次の①～④の中からひとつ選び、マークしなさい。 18

- ①
- ②
- ③
- ④

問 9 下線部㉕に関連して、についての説明として誤っている文を、次の①～④の中からひとつ選び、マークしなさい。 19

- ①
- ②
- ③
- ④

問10 下線部㉖に関連して、として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選び、マークしなさい。 20

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ① <input type="text"/> | ② <input type="text"/> |
| ③ <input type="text"/> | ④ <input type="text"/> |

Ⅲ 次の文章を読んで後の問に答えなさい。 ア ～ エ は解答用紙(その2)を、 21 ～ 29 は解答用紙(その1)を用いること。

地球の表面を覆う厚さ 100 km程度の岩盤であるプレートは、地球内部の対流のため常に移動を続けている。異なるプレートがぶつかる境界では巨大地震が周期的に発生する。日本の太平洋沖には「南海トラフ」と呼ばれるプレート境界による海底の沈み込み帯があり、ここを震源域とする地震が歴史に記録されている。

古い記録では『日本書紀』の684年(天武天皇 13年)のくだりに地震と津波の記述がある。土佐を津波が襲い伊予の温泉の湯が止まった。この地震は白鳳地震と名付けられている。887年(仁和3年)には仁和地震が起きた。菅原道真が讃岐守に着任した翌年のことであった。『 ア 』によれば摂津国の被害が最も甚だしかったとある。

その後も南海トラフを震源域とする地震は度々起きた。江戸時代に入ると記録も克明なものが残っている。1707年(宝永4年)に南海トラフのほぼ全域が震源域となる宝永地震が発生した。太平洋岸の広い地域を津波が襲い、土佐では多くの死者を出し、摂津では津波が道頓堀を遡っていくつかの橋を破壊した。さらに、地震から49日後、富士山が噴火した。 イ の『折たく柴の記』に、江戸に火山灰が降下した様子が描かれている。

南海トラフで発生する地震は、その震源域の違いによって分類されており、東から東海地震・東南海地震・南海地震と呼ばれている。幕末の1854年(嘉永7年)には ウ 東海地震と ウ 南海地震が34時間間隔で続けて発生した。ロシア遣日全権使節のブチャーチンが乗船していたフリゲート艦「ディアナ」は幕府との交渉のために停泊していた下田で東海地震に見舞われて大きく損傷し、その後嵐に襲われて沈没した。この二つの大地震の翌年、 ウ 江戸地震が起きた。これは南海トラフが震源ではなかったが、江戸市中の被害は大きかった。この地震で水戸藩の小石川藩邸が倒壊し、水戸藩の前藩主・徳川 エ の腹心である藤田東湖が死亡した。その後、水戸藩内部は政治的に分裂していった。

第二次世界大戦の終戦前後、二つの大地震が南海トラフで起きている。1944

年の東南海地震と1946年の南海地震である。1944年の東南海地震は戦時中とい
うこともあり、^① 厳しい報道規制が敷かれ救援物資も届かなかった。戦後の南海地
震では太平洋岸の広い地域に津波が到達したほか、主に九州から近畿にかけての
西日本で被害があった。2年という間隔は地質学的には短い時間であり、同時期
の時間差連動と考えられており、合わせて昭和地震と呼ばれることがある。
(地震の名称は「地震調査研究推進本部」に準拠)

問 1 空欄 には『日本書紀』から始まった6つの漢文正史である「六国
史」の最後の史書が入る。その書名を漢字六文字で記しなさい。

問 2 空欄 にあてはまる人名を漢字四文字で記しなさい。

問 3 空欄 には同じ年号が入る。東海地震と南海地震が起きたのは
「嘉永」であるが、東海地震の23日後に改元されたため、翌年の江戸地震を
含め改元後の年号で呼ばれるようになった。その年号を漢字二文字で記しな
さい。

問 4 空欄 にあてはまる人物は生涯に複数回改名をしているが、藩主
に就任した際に将軍の名から一字を受けて称した名を漢字二文字で記しな
さい。

問 5 下線部③に関して、『日本書紀』に関する説明として正しいものを次の①～
④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 平城京に遷都した元明天皇の時代に完成された。
- ② 太安万侶によって天皇系譜や天皇家の伝承がまとめられた。
- ③ 舎人親王が中心となって編年体の国家成立史としてまとめられた。
- ④ 菅野真道・藤原経縄らによって延暦10年までの記録がまとめられた。

問 6 下線部⑥に関して、天武天皇に関する説明として誤っているものを次の①
～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 最初の戸籍である庚午年籍を作成した。
- ② 父親は舒明天皇である。
- ③ 飛鳥浄御原宮で即位した。
- ④ 私有民である部曲を廃止し八色の姓を制定した。

問 7 下線部⑦に関して、菅原道真に関する説明として誤っているものを次の①
～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 唐の衰退を理由に、遣唐使派遣の中止を建議した。
- ② 死後、道真を神としてまつる北野天満宮がつくられ天神信仰が広がっ
た。
- ③ 醍醐天皇の時代に右大臣に任じられた。
- ④ 左大臣の藤原基経に讒言され大宰権帥に左遷され任地で死去した。

問 8 下線部⑧に関して、富士山の宝永大噴火に関する説明として正しいものを
次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 噴煙が日光を遮って気候が寒冷化したことが原因で天明の飢饉が起き
た。
- ② 火山灰による目の痛みを訴えた庶民が小石川養生所に押し寄せた。
- ③ 歌川広重が『富嶽三十六景』の一つに富士山の噴火を描いた。
- ④ 幕府は噴火の被災地を復興する目的で全国に高役金を課した。

問 9 下線部㉔に関して、『折たく柴の記』に関する説明として正しいものを次の

①～④の中から1つ選びマークしなさい。 25

- ① 自身の回顧録であり、生い立ちから将軍家継死後の引退までを記した。
- ② 小石川に幽閉されていた宣教師への尋問で得た知識をもとに著された。
- ③ 公家政権から武家政権への推移を段階的に区分して歴史の見方を示した。
- ④ 武士の日常の道徳から乖離した朱子学を批判した。

問10 下線部㉕に関して、プチャーチンに関する説明として正しいものを次の①

～④の中から1つ選びマークしなさい。 26

- ① プチャーチンが長崎に来航したのはペリーが浦賀に来航した半年後だった。
- ② 開国と国境の画定を要求し、日露和親条約を結んだ。
- ③ 下田に駐在して総領事となり通商条約の締結を強く求めた。
- ④ プチャーチンが滞在していた高輪東禅寺が水戸浪士の襲撃を受けた。

問11 下線部㉖に関して、藤田東湖に関する説明として誤っているものを次の①

～④の中から1つ選びマークしなさい。 27

- ① 後期水戸学の中心人物である藤田幽谷の次男である。
- ② 尊王攘夷論である水戸学の思想を体系化した『弘道館記述義』を著した。
- ③ 公武合体論を力説し「東洋道徳、西洋芸術(技術)」を説いた。
- ④ ペリーの浦賀来航により海防参与として幕政に参画した前藩主を補佐した。

問12 下線部㉗に関して、水戸藩の政治的分裂についての記述として正しいものを

次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 28

- ① 将軍家定の継嗣問題をめぐって一橋派と南紀派に分裂した。
- ② 尊攘過激派が挙兵した天狗党の乱が起きたが鎮圧された。
- ③ 天狗党の残党は奇兵隊を率いて保守派から藩の主導権を奪い返した。
- ④ 水戸浪士らによる桜田門外の変ののち老中堀田正睦は公武合体を進めた。

問13 下線部㉘に関して、1946年に起きたできごととして誤っているものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 29

- ① 同年5月から極東国際軍事裁判所で裁判が始まった。
- ② その年の元日、昭和天皇は人間宣言をおこない天皇の神格を否定した。
- ③ 同年11月に日本国憲法が公布され、翌年5月から施行された。
- ④ 同年4月に北大西洋条約機構(NATO)が結成され日本の占領政策が転換された。